

# 寺社札 入門

カタログコレクション(その他編)

## 吉備津神社／善福寺／妙見山

鳳凰山 神野良英

### 吉備津神社

備中の吉備津神社は吉備(備前・備中・備後三国)の「総鎮守」で、足利義満の造営とされる比翼入母屋造の本殿(国宝)が見事です。

さて、近年、備中・宮内村札の一部が吉備津神社札として扱われるようになりましたが、これまでは単なる「私札」と考える向きも多かったようです(日銀資料でも「私人札」に区分)。もともと、今日においても数ある宮内村札のいずれを吉備津神社札と見做すのか?といった議論はあるのですが、ここでは以下のように中分類を入れ、まとめさせていただきます。

#### 藤井

藤井家(清田屋)は吉備津神社の祠官の子弟が分家した町世家であり、公私に亘り吉備津神社をサポートしていたようです。

#### ○通用手形

・五分【40】①

#### ○丹波屋

- ・札五分(黄)【80】②
  - ・札四分【150】③
  - ・札四分(灰)【200】④
  - ・永銭五文(黄)(五分札に押印)【350】⑤
  - ・永銭四文(四分札に押印)【300】⑥
- 表面下段に「清田屋(横書)」印の押されるものが多く、無印のものは少ないようです。五分札は「黄札」ですが、退色?のためか白っぽく見えるものもあるようです。

#### ○紀国屋

- ・永銭壹文【400】⑦
- 小札ですが、とても稀少なものです。

「藤井札」の記録はこの他にも見られるのですが、旗本の津寺札などの混同も疑われ、今回は確認札のみの記載とさせていただきます。

#### 濱野

この「濱野札」は吉備津神社の富裕祠官の一人、濱野玄蕃の発行によるものです。

#### ○白札

- ・札壹分【150】⑧
  - ・札五厘【300】⑨
- こちら(一応、高額札か……)はこの地方の小札に散見される簡素な体裁のものです。

#### ○御守切手

- ・札四厘(赤)【350】⑩
  - ・札三厘【300】⑪
- 小額札には「波銭／文銭図」が描かれ、「御守切手」とあります。

#### 宮内町會所

この「宮内町會所札」も最近になって神社札と考えられるようになったものです。